

## ポケットジャーナル



### ★NPO法人神戸ブランドアンカー活動始まる

ミナト神戸が世界に門戸を開いて一世紀半。今や、まちは成長から成熟への大転換機を迎えている。そんな中、新しい価値観やシステムを創造する事業を立ち上げたNPO法人神戸ブランドアンカー（村上和子理事長）は、ミナト神戸を活かし、次世代に向けての文化と経済活動の発展、まちの賑わいと活性の実現に向けて、国土交通省をはじめ行政との力強いパートナーシップのもと、多彩な企画を実施していく。



村上和子理事長

官民のパートナーシップ

で、既存施設の利用や十分に活用されていない施設の再生、再利用を重視し、ひとが主役になって、まちをいきいき動かしていける環境づくりの実現と神戸の揺るぎない再生をめざす。

6月12日(土)・18日(金)には、中突堤中央ターミナル『かもめりあ』1F特設会場において、第1回KOBEMIなどの絵大賞の作品展を開催。

この実りある活動にご支援いただける方は、個人会員年会費1万円・企業会員2万円（1口）で会員募集中。ぜひご賛同下さいませ。

■お問合せ/NPO法人神戸ブランドアンカー

神戸市中央区東町1-2-2

日本真珠会館3F

TEL 078-3332-3185

FAX 078-3332-3186

### ★スペシャル・フローラルアート教室開催

北野工房のまち「おし花工房 フローージュ」代表たなかみずえさんが、講師をつとめるフローラルアート教室が神戸ベイシエラトンホテル&タワーズにて開催。たなかみずえさんの芸術性を追及しおし花の世界は海外からも高く評価され、フランスのル・サロン展にも入選をはたしている。

ホテル特製のホームメイドケーキとともに優雅なティータイムのひとつときもあわせて楽しめる。

■日時/毎月1回第4木曜  
初回6月26日(木)13:00~16:00 (ティータイムを含む)  
場所/神戸ベイシエラトン & タワーズ21Fトップ・オブ・シエラトンにて 受講料/1回1万円 (ティー&ケーキ付)  
TEL 078-857-7018



ル・サロン初入選  
おぼる月夜(源氏)

### 誕生日 ありがとう 運動

人生を肯定する



連休二日に神戸二中の大先輩東山魁夷「回顧展」を敏馬の濱で満喫しました。前日には二級ヘルパ講習同期生のボーリング&食事会に出ました。翌日はあわせの村で障がい者とともにバーベキューを味わいました。

次の日は湊川端にて「半落ち」を観ました。アルツハイマーを病む妻を殺めるとの刑事物語です。原田美枝子が秀逸でした。結末には不満です。

フォーク歌手小室等の新書新刊「人生を肯定するもの、それが音楽」を夜一気読みました。知的障がい者施設音楽青年寮での体験が披露されます。「知的障害」という言い方、抵抗を感じ」に同感。

忙しいやら慌ただしいやらの休みでした。開けては「運動のしおり増刊」作りが待っています。

おどすんな皆の衆  
(谷川俊太郎)

M

誕生日ありがとう運動本部  
〒650・8790神戸市中央区中町通4・2・11村上ビルB1  
TEL&FAX 078・360・1257

★ハーテングダー日本一決定！  
神戸から世界へ

6月6日(日)の午前11時より、新神戸オリエンタルホテル10F真珠の間において、第31回全国ハーテングダー技能競技大会と第9回全国ジュニア・カクテル・コンペティションが催される。ジャズ生演奏に小曽根実トリオを迎え楽しい企画が盛りだくさん。観戦・試飲・パーティー参加1万2千円、観戦・試飲3千円となっているので、一般の方もお気軽にお越しください。

☎078-322-1117

(バー・マティニー 飯塚)

花時計



★花と緑の回廊づくりと  
インフィオラータ

安藤忠雄さんが「参加型のまちづくり」をすすめて、日本中のあちこちで「花と緑」が植樹され、元気な町や村よみがえり、すてきな手づくりの景観をつくりだしている。



居留地に帰って来た長澤さん

★旧居留地に帰って来たダンディな長澤昭三さん

神戸大丸店長の頃、旧居留地界隈をファッシュオンタウンづくりにと、精力的に動かされた長澤昭三さんが、十数年ぶり、江戸町のトウセン神戸ビル3F(懶シービージャエ)の取締役会長として帰郷。さっそく訪ねると、「いやー旧居留地はよろしいわあ。ファッシュオンの仕

☎078-327-5071

安藤さんの監修のもとに昨年の五月からスタートした神戸の「花と緑の回廊づくり」が一年を経て、各地区の商店街とまちづくり協議会が、その成果を報告した。

もちろん神戸も手づくりで北野、トアロード、三宮あじさい通り、三宮南、三宮中央通り、旧居留地、鯉川山手、みなと元町、元町商店街、神戸ハーバーランドなどの代表が、近隣の人々に、企業に商店の人々に呼びかけて運動が始まり、意外に地元の人々が気軽に参加して、神戸市の指導のもと花や緑の植樹が広がっ

事をする気分になりますねえ。CESARE PACIOTTI

イタリアの靴メーカーですが、これからは良質のものを、神戸をヘッドオフィスにして提供していきますのでよろしく」とにっこり。ダンディな長澤さんには旧居留地が良く似合う。おかえり！

て、愛らしく花を咲かせ、花のパワーをもらって、美しい神戸のまちづくりが育まれてきたようだ。

四月から五月にかけて各地で開かれた「インフィオラータ」も、北野町では、イタリアの発祥のまちジェンツァーノからの花絵も到着して、女性デザイナーが来神。神さまからの贈りものの花のパワーをアートの活かして、イタリアと日本が友情で結ばれることが感動的。震災から九年目は、花神の春だった。

(M・K)

KOBE POST

★須磨・浄徳寺 六十九世宇賀芳樹住職が、永年の本山護寺、青少年育成、更生保護、寺門興隆の功績により、宗門最高位の一級大僧正に昇補され、伝燈大阿闍梨界が承認され檀家総代一同と、昇進祝賀会発起人一向により、六月十日(午後六時より)、ポートピアホテル大輪田の間で祝宴を開催されます。当日は高野山真言宗管長賢延敏雄大僧正親下をお迎えしての祝宴となります。

★園田正和兵庫信用金庫理事長が春の叙勲で旭日小褒章を叙勲されました。祝賀会は六月二十一日(旧神戸ポートピアホテルにて)行なわれます。

★神戸マイスターで有馬瑞苑顧問の太田忠道さんが黄綬褒章を受勲され、七月九日(有馬グラนด์ホテルにおいて)祝賀会が開かれます。

★甲陽音楽学院(管内孝憲学院長)が10周年を迎え、B.I.N.S.U.M.T.を世界十一カ国からのパクリー音楽大学の提携校十三校が神戸に集まり、六月十九日より五日間にわたって開催。六月十九日午後五時半より灘区民ホール五階ホールでレセプションを開く。ラリー・モンロー、パクリー音楽大学準副学長を迎えて十三校の代表と共に交流会が、二十日(日)には午後6時より、同ホールで国際交流コンサートが(無料)。

★第二十九回「二刀流のんべの会」(会長・西正興)が六月十五日(午後六時半より)、ホテルゴードル神戸16F(パルセロナの間)で開催。会費/六千円。TEL 781-3031-5555 日本酒協会/奈良豊沢酒造 お申込TEL 0781-974-1975 8 株ユーハイムコンプレクスト会長西正興





# 重廣恒夫の 山歩き教室

(7)

## 山でバテない為に (エネルギー・水分補給)



登山中のエネルギー消費量や脱水量は予想以上に多いものです。したがって行動中食物や水分は積極的に補給する必要があります。消費エネルギー(Kcal)＝

$(6.59 \text{ Kcal}) \times \text{体重} \times \text{時間}$ で求められ、体重60kgの人は5時間の行動では軽装でも2000Kcal前後消費します。

しかし、我々の身体は非常に頑丈にできており、人体に蓄えられているエネルギー量は脂肪7・4日(但し脂肪は炭水化物が無いとエネルギーに変換されない)、炭水化物は1・5時間といわれています。周りの環境が変化しないとすると飲まず喰わずで1週間、静止状態では1ヶ月前後生存することが可能ですが、食べないと筋が動かなくなり、脳の働きが低下します。また風雨や寒気などの外的環境の変化に遭遇すると耐久時間は非常に短いものとなります。

食物栄養素の中でもっとも必要なのは炭水化物。行動中は最低2時間ごとに炭水化物を多く含む食物を補給する必要があります。

行動中の水分補給は1時間、体重1kgあたり約50cc必要です。オーバーヒートは疲労の根源で体温が42度で死にいたりします。脱水が引き起こす熱疲労、熱射病、熱痙攣、血栓、むくみなどいずれも行動を大きく阻害するもので最低でも脱水量を体重の2%以下にとどめる必要があります。飲水量(g)＝ $5 \times \text{体重} \times \text{時間} - 20 \times \text{体重}$ で求められこれからの季節は最低でも1Lから2Lの水分補給が必要で

す。ただし、塩分補給を怠ると筋肉中の電解質のバランスが崩れ筋肉の痙攣をまねく原因になります。また水の飲みすぎは低ナトリウム血栓で筋の痙攣や意識障害を誘引します。

エネルギー補給や水分補給を効

率よくおこなうには、休憩時に少しの食べ物と飲物を飲むようにしましょう。食べ物はアンパンやムスビなどが適しています。自身で炭水化物を多く含む食べやすい食品を日頃から見つけておきましょう。飲物に関してはどんなものでもよいのですが、スポーツドリンクにはナトリウムも含まれており、痙攣の防止にも効果があります。水しか飲めないという人は1日に2〜3個の梅干で塩分補給をしましょう。

休憩時間もある程度の区切りは必要ですが、30分、1時間に一度休むということ厳格に守る必要は無く、その日の体調にあわせてフレキシブルに休みましょう。また休憩時間には必ず地図で現在地の確認を行なう事を習慣付け、計画どおり進捗しているかどうかを再確認することも安全登山の第一歩です。

(しげひろつねお)

1947年山口県徳山市生まれ。71年オニツカ(現アシックス)に入社。73年エベレスト南西壁の世界最高峰(当時、80年77年日本人としてK2に初登頂。80年北壁からの新ルートでチョモランマに登頂。88年のチョモランマ交差縦走(日本・中国・ネパール三国友好登山隊)では、登攀隊長として、世界最高峰を舞台にした世界初の交差縦走を成功に導く。92年、当時未踏の最高峰であったナルパルムの初登頂を指揮。96年、日本百名山を121日で連続踏破した。



## 第8回六甲山トレッキングツアー（4/21）

六甲山の全山縦走

諏訪山公園く六甲山頂ケーブル駅

秋から始まり冬、春と3つの季節の六甲山を歩いてきました。落ち葉の上をパリッパリッと音を立てながら歩く秋もとても好きでしたが、鮮やかな緑をどこまでも見渡せる春にも感動しました。春の山の明るさがとてもよかったです。こうやって季節を近くで感じられるのも山歩きの楽しさだと実感しました。単にトレーニング目的で始めたトレッキングでしたが、今ではそれだけではない、これは奥が深いぞと思います。

春の明るさと小鳥の心地よいさえずりのおかげで今回のコースもなんとかクリアできました。前半は鍋蓋山が難関でした。アップダウンが激しかったです。そして、摩耶山手前の岩場。かなり登りごたえのあるコースでした。息切れしながらも、景色を楽しみ、花を楽しみ、一緒に歩くみなさんと「いーね、いーね」と言い合いながら歩けたのが本当にうれしかったです。最高の一日でした。

若畑 みのり



# 海船港

日本初寄港クリスタル・セレニティ乗船記④  
文・上川庄二郎



■かみかわ しょうじろう  
1935年生まれ。神戸大学卒。  
神戸市に入り、空港対策室長、消防局長を経て定年退職。現在、関西学院大学、大阪産業大学非常勤講師。



## 九 神戸の歓迎は？

【船内の歓迎行事】 市長以下歓迎側と船長以下船側の面々が壇上に登壇してセレモニーが始まる。乗船客の関心も高いのだろう。何時ものナイトショーの時より座席が埋まっている。

先ず矢田市長から船長に神戸港初入港の記念プレートを贈呈。次いで、雛の節句に因んで、ケース入りの雛人形が贈られ、乗客代表二人には、神戸祭りの法被が贈られた。お返しに、船長から船のプレートを矢田市長に贈呈。

次いで、矢田市長の歓迎の挨拶。神戸は美しいまちであるだけでなく神戸牛も世界的に有名だ、などと抜け目なく神戸の宣伝を入れた挨拶で、外国人だけでなく日本人乗客からも大変好評だったのは嬉しいことだ。今回乗船されていた作家の阿川弘之さんも聞いておられたはずだから、どこかで文章にされるかもしれない。船長の答礼では、お世辞も入っていることだろうが、神戸は世界一の港だ、これからも機会があれば何回でも神戸に寄航したいと言って市長以下の出迎え陣の胸をくすぐった。

第二部は、ピンクで揃いの和服姿の女性による琴の演奏から始まった。最初は、日本の伝統曲、さくらさくら。みんなしんみりと聞き入っている。これからが、外国人向けのレパートリーで、峠の我が家、スワニー河、オー・スザンナ、草競馬で締めたのはいい趣向だった。みんな、もう感激して一緒に割って口ずさみ、会場は一つになった。演奏が終わって割れるような拍手。次いで、輪田鼓の皆さんによる太鼓の演奏。パフォーマンスたっぷりのスピード感溢れる演技、そのお腹の底まで響く太鼓の音。これがまた会場をシーンと静まらせ、演技が終わるや否やこれまた割れるような拍手の渦。

また出航時には、夕闇迫る中、岸壁から赤い大きな提灯を掲げて見送ったことが強く印象に残ったようだ。いずれにしても、今回の歓送迎行事は大成功だったと思う。日本人の乗船客も外国人以上に堪能していたようだ。今日のこの気持ちを忘れずに、これからもこういう歓送迎行事を大切にしたいと思う。これが、ホスピタリティの証なんだから……。

しかし、若干の不満をいうとすれば、この歓送迎行事を市や市の関係団体だけの行事に終わらせることなく、商工会議所や地元商店街、市民団体も巻き込んだ歓送迎行事にして欲しいということである。

## 十 エピソード

下船して、ポートアイランドの北公園に回ってみる。クリスタル・セレニティの雄姿を撮ろうと立ち寄ったのだが、10人余りの人が三脚を立てて狙っている。しかし、ここは足場が悪く一般の人が数多く立ち寄れる場所ではない。中突堤であれば、周辺は平素から多くの人が集まる場所であり広い範囲から眺望することができる。ここならもっと多くの人を呼べるはず。やはり、基本的に四突の周港での歓迎迎はどんなものだったの。さて、神戸以降の各港での歓迎迎はどんなものだったの。何人かの方からの情報をまとめてみると、名古屋港の歓迎行事は、バトントワラーの華麗な演技、歓送は、花火で締められたというから中々のものだ。ただ、出航が16時30分とまだ明るい時間帯だったこと也有着、色あせた花火になってしまったということらしい。乗船客も「見えないよー！」とがっかり気味だったとのこと。少し残念な結果だったようだ。

横浜は、さすがに大したものだ。歓迎行事もさることながら、新聞報道によると新装なった大棧橋にこの船を一目見ようと6万人もの市民が見物にやってきたという。折からの、地下鉄みなとみらい線の開業人気も重なったのだろうか、実際にこの光景を見た人の話では、凄い人だったというのだから間違いないさ。この人出自が、いかなる歓迎行事よりも大きなイベントであり、何よりの歓迎の意思表示である。

それに引き換え、神戸港では、入港時に見学にやってきた市民は横浜港とは雲泥の差で、300人とも4

00人とも言われているが、船側から見ていた私の目でも、やはりそんなものだったなあとと思う。

これは、クルーズ人口とかの差だけではなく、四突客船パリスのロケーションがいまいちなのに対し、横浜港のあの棧橋の屋上プロムナードが何ととっても魅力がある。神戸でも、中突堤を客船パリスにすれば、ハーバーランドからメリケンパーク一帯は、スケールでは横浜の大棧橋界限ほどには及ばないものの、元町や旧居留地にかけてのダウンタウンに近い巷の雰囲気は、神戸港が勝るとも決して劣らない。

最後に少し整理してみよう。若干繰り返しになるが、この歓迎行事が市や市の関係団体だけの行事に終わっていたのでは駄目だということである。地元経済界や商店街、市民団体も巻き込んだ歓迎行事に盛り上げなければ意味がない。横浜のように、多くの市民に、もっともっと港に接し港を愛するようになってもらわなければ、港を真の観光資源として育ててゆくのは難しい。「近者説 遠者来」、行政側が一人踊っている市民はついてこない。市民一人ひとりに、港は自分たちのものであるという認識が芽生えてこない限り、こうした歓迎行事はその場限りの空回りに終わってしまう。

どうやら、この辺りが私の今回のクリスタル・セレニティ乗船記の落ちになったようだ。今からでも遅くはない。華麗なクルーズ船が入港したら、せめて1万人ぐらいの市民が見物にやってくるような魅力ある神戸港にしたいものである。

(完)





# 「謎の写楽」が映画になった!

中右 瑛

謎の浮世絵師・東洲斎写楽を主人公とした映画『写楽』(一九九五)がお目見得した。

かつて何度となく映画化が試みられたが、難題や謎の部分が多く、叶えられることがなかったが、それが実現したのである。

映画の中の写楽と北斎。さて?誰がその役を演じるのか?興味深々。

映画の『写楽』を企画したのは俳優のフランキー堺さん。TVドラマ『私は貝になりたい』(一九五八)などの名作に出演し、映画、TV、舞台にと大活躍のフランキーさんが写楽の映画化に執念を燃やしたのは理由があった。

四十数年前、フランキーさんは異色の名作として誇り高い『幕末太陽伝』(一九五七)で映画デビュー。

その折の川島雄三監督が、コミカルでユニークな風貌のフランキーさんと写楽とを結びつけ、映画化を思いついた。ところがその直後、川島監督は急死。この企画は宙に浮いてしまったのである。

残念がったフランキーさんは、その後もずーっと写楽への熱き想いがたち切れず写楽研究を重ね。『写楽道行』(一九八六・文芸春秋社刊)なる小説を書いたりして、今度の映画制作へと繋がったのである。

構想は実に三十年余り、自ら企画、総指揮、脚色、



フランキー堺著『写楽道行』表紙

制作を担当

もちろん出演もし、川島監督の果せなかつた夢を実現すべく、情熱をつぎ込んでいたのである。

監督は『はなれ瞽女おりん』(一九七八)、『瀬戸内少年野球団』(一九八四)の映画で知られた篠田正浩さん。日本のヌーベルバークの旗手として『心中天網島』(一九六九)、『鐘の権三』(一九八六)などの時代物も得意としたベテラン。数々の映画賞を受賞し高い評価を得ている。

主人公・写楽に扮するのは美男の真田広之さん。五歳で映画デビュー。いま、甘いマスクは女性ファンに人気があり、日本映画界を代表する俳優である。



映画『写楽』の1シーン 中央・岩下志麻さん演じる大道芸人おかん  
右・真田広之の歌舞伎役者の写楽

『写楽』では、下っ端の歌舞伎役者で、劇中、トンホ（宙返り）できまるハードな役柄のため、吹き替えなしでやれる真田さんが起用されたのである。フランキーさんは、この映画では重要な脇役にまわり、写楽や北斎、歌麿を売り出した出版元の葛屋重三郎に扮する。

葛屋に出入りするヒックなアーチストたちの内、喜多川歌麿役は個性派の佐野史郎さん。激情と狂気のキャラクターを熱演する。

若き北斎には新人の永沢俊矢さん。元モデル、端正なマスクと長身で逞しい肉体美を誇る大型新人である。

大北斎の若き日、野生的で熱情の気性の鉄蔵を、魅力的に表現する。

その他、写楽のカギを握る人物・十返舎一九には片岡鶴太郎さん。

女優陣には、大道芸人集団の女ボスおかに岩下志麻さん。写楽に心を寄せる若いおいらん花里には映画初出演の葉月里緒菜さんら多彩で芸達者な俳優が顔を揃える。

写楽は歌舞伎役者で、ひよんなことから事件に巻き込まれて、吉原遊女と深い仲になるという恋ものがあったり。

封建の暗い時代。腐敗政治と政商との絡みや退廃文化を背景に、アーチストたちの苦悩、町人のバイタリティなど単なるラブロマンスに終ってはいない。脚本は皆川博子女士。

主役の真田広之と葉月里緒菜が、この映画出演がきっかけとなり、私生活で不倫スキャンダルを巻き起したことは既にご承知であろう。

さまざまな話題を集めて、この映画は完成したのである。映画は「みろくの里」（広島県）、「金丸座」（高松讃岐）ロケがふんだんに盛りられ、吉原遊郭、葛屋店、芝居小屋などの江戸情緒があふれ、江戸の雰囲気が見事に再現されていた。

特に「金丸座」ロケの歌舞伎シーンの幻想的な映像は見事である。

最終ロケ撮影は金丸座で、私はエキストラとして参加したのである。

ドーラン塗って、チョン鬘姿で、カメラの前に立つ。ドキドキ、ソワソワ…初めての珍体験談は次回で…。

■中右 瑛（なかう・えい）

抽象画家。浮世絵・夢二エッセイスト。一九三四年生まれ、神戸市在住。行動美術展において奨励賞、新人賞、会友賞、行動美術賞受賞。浮世絵内山賞受賞。半どん現代美術賞、兵庫県文化賞、神戸市文化賞など受賞。現在、行動美術協会会員、国際浮世絵学会常任理事。著書多数



# ■みだら夜話／第十七回

## りんの玉

あさぎ まだら  
浅黄斑〈作家〉

絵・犬童 徹

万緑もまぶしい五月が終わり、梅雨の季節がやってきました。郊外では田に水が張られ、蛭もちらほら光る頃――。

さて、いきなり漢字ばかりを並べますが、どうかご容赦下さいませよう。

林鐘(りんしょう) 弥涼暮月(いすずくれつき)  
風待月(かぜまちつき) 常夏(じょうか) 小暑(しょうしょ) 涼暮月(すずくれつき) 蟬羽月(せみののはつき) 長夏(ちょうか) 常夏月(とこなつつき) 鳴神月(なるかみつき) 晩夏(ばんか) 松風月(まつかぜつき) 水無月・水皆尽月(みなつき)――。

最後の水無月でおわかりかと思いますが、これすべて六月のことです。もっとも旧暦の呼び方なんで、雷の鳴る鳴神月とか、ましてや晩夏などは、え、なんで? なんて感じてしまいませんか。でも、それなら水無月というのからしておかしい。小生も昔、毎日毎日うとうとしい雨が降り続くこの時期が、なんで水の無い月なのか不思議に思ったものであります。まあ、同じような



ことを考える人はいるもので、水月と書いて「みなづき」と読ませる場合もあるらしい。

旧暦の六月というのは、雷がごろごろと鳴り響いて梅雨が上がる。でもってもう天からの水も尽きたというので、水無月になったらしいです。似たようなものですが、阪急京都線の大山崎付近に「水無瀬」という駅がある。ところが水が無いどころか、宇治川から淀川へと名を変えようという大河が滔々と流れている。やっぱり、なんで? と思ったものです。実はこのあたり、昔は水生野(みなせの)と書いたところで、水が無いどころか水の生れる土地だったわけで、さる酒造メーカーの工場があるのも、そんな名水を求めてのことであつたんですね。勝手に漢字をあてるといかにぞ、という好例だね。

では、例の手まり歌の六月の段に入りましょう。

いくをやらじと止めてこたえりや、つい林鐘に、  
愛染と涼み祇園のほこほこ饅頭、子供時分はよい  
夏神楽、過ぎたしるしか、いかい提灯、地黄玉子

で精をつけては、皆お祓いや

林鐘というのは邦楽の音階の名前でもありますが、ここでは先にもあげたように旧暦六月の異称でもあります。それに淋症をかけている。淋病のことですな。これにかかると、おしっこが出にくくなります。いきなり失礼さんでございますが、イキそうになるのを、ぐっとこらえてがんばった結果、淋病になっちゃった、というのであります。

ところで六月の行事はと申しますと、六月一日が大阪の愛染祭り、七日からが京の祇園祭、十七日から夏神祭がはじまって、三十日には水無月祓いといって、京の車折神社をはじめとする神社では夏越の大祓いが、大阪の住吉神社でも数万の灯を照らして住吉御祓いが……と行事が読み込まれております。もちろん旧暦での話ではありますが。愛染とは仏教でいう貪愛染着、すなわちむさぼり愛し、それにとらわれて染まること、つまりは煩惱であります。次にほこほこ饅頭のほこは祇園祭の鉦をあらわすと同時に、男性自身になぞらえていると気がつく、俄然、面白くなってきます。というのは神楽においても矛をもって踊るんですが、祇園のほうの鉦に比べたら、神楽の矛なんかは実にかわいいものです。つまり、こんなことを言っているのでしょうかね。

子供時分は元気なもんで、夏でもしゃんしゃんがなばれたもんだが、ついついやり過ぎちゃったせいか、でかくはなっただとまるで提灯みたいいだらんと元気がありません。こうなりや地黄丸や生玉子でも飲んで、精をつけてがんばりましょう。

そりゃ、うがちすぎじゃないの、と思われれるかもしれないが、メタファとしての提灯は、次のような川柳にも顔を出しています。

引きのぼし、親父の提灯、笑う婆。  
ついでに、もうひとつ。

四つ目屋で隠居、提灯張る気なり。

四つ目屋というのは現代でいえば、大人のおもちゃ屋みたいなもので、無力な男性自身のことを提灯と呼んでいるのでありますな。

地黄は漢方薬で、これが主成分の地黄丸は今も昔も強壯剤でありますし、玉子もまたしかり。では江戸の頃、どういったものが精をつける食べ物と考えられていたかを井原西鶴の「好色一代男」から拾いますと、ドジョウにゴボウ、ヤマイモに卵、葉だと地黄丸に女喜丹、りんの玉などが出てきます。

さてこの、りんの玉、とはいったいなんじやいな。恥ずかしながら小生大いに興味を持ったのは次のような狂歌をみつけたからです。いわく「玉門のうちへ入りつつ行えば、転げまわりてよきりんの玉」どんなんだろうな。興味ある方は、お調べください。別名を「めんれい」というそうですよ。



■浅黄斑（あさぎ またら）推理作家。一九四六年神戸生まれ。西神ニュータウンに在住。一九九二年小説推理新人賞、一九九五年日本文芸家クラブ大賞を受賞。日本文芸家協会、日本推理作家協会などに所属するとともに、日本文芸家クラブ関西支部長、「きょうも風さえ吹きます」(「ちよんがれ西鶴」)「走る死体」(「神戸・真夏の祭りに殺人事件」)など著書多数。



# 名前前

出石 アカル

絵・菅原 洗人

題字・六車 明峰

迂闊であった。「出石アカル」というペンネームのことである。お恥ずかしい、というほかない。「出石」は家内の故郷である。わたしの大好きな町だ。「アカル」は知人の長男の名前である。明と書いて、あかると読む。わたしはそれが面白くてペンネームにもらった。もう十年以上使っている。

ところがである。

先日、出石へ行った折り、あることを調べていて、資料の中から「アカルヒメ」という文字が目



に飛び込んで来て驚いた。そこでは詳しいことは分からなかったので、別に調べてみた。すると、阿加流比売（アカルヒメ）とは、出石神社の祭神、天日槍（アメノヒボコ）の最初の妻であり、太陽の光から誕生したという。

アメノヒボコは新羅の王子だったが、美しいアカルヒメに恋をして妻にする。そのアカルヒメが鉄で農具を作る技術を持っていた。アメノヒボコは、それで強力な武器を作ることを目指し、製法を教えろと迫るのだが、アカルヒメは、武器を

作るのなら駄目だと教えない。そんなことから、やがて仲たがいで、アカルヒメは祖国に帰ると言って、難波へと去ってしまった。アメノヒボコは彼女を忘れることが出来ず追いかけて行くのだが、会うことを拒否されて、淡路や播磨など各地を転々とし、やっと出石に落ち着き勢力を蓄え、そこでアカルヒメそっくりの美女と再婚することになる。この件も面白いのだが、またの機会に。

というところで、「出石アカル」は、俄然意味を帯びた。恥ずかしながら、この神話を知っていたつけたペンネームではない。偶然である。

アカルヒメは優れた知恵の持ち主で、大変な美女だったという。わたしは密かに満足している。

この調べ事の一端に協力して下さったのが、樋口与有さん、84歳。元ケーキ作りの職人さん。

このお年でパソコンを自由自在に扱う。アカルヒメのことをもっと調べたいと思っていた時に丁度この人が見えて、検索を頼んだ。するとすぐ翌日に資料をプリントアウトして持って来て下さった。それで、アカルヒメを祭る神社が大阪の鶴橋にあることも分かった。一度お参りしてこようと思っている。

で、樋口さんの話である。

パソコンで驚いてはいけない。うちの店に来る時は、ローブのように細いタイヤのサイクリング車に乗って、赤、黄、紫など、派手な柄のツーリングウェアである。ヘルメットも同じ。近々、琵琶湖を一周してくるといふ。聞けば十年ほど前には、中国大陸にまで足を伸ばし、何日もかけて五

百キロほど走って来た。昔の軍隊時代の思い出の地を訪ねたのだと。驚くばかりの元気さだ。

樋口さん、与有と書いてカズミと読む。非常に珍しい。だれも読めない。それが、

「小学校の時、同級生に同じ名前前の奴がおって困ったがな。字も読みも一緒や。おまけに誕生日まで」

偶然と言うより奇跡である。そんな馬鹿な、と思つたら、謎が解けた。近くの神社でつけてもらった名前だという。同級生もそうだったと。何か行き違いがあつてのことだろうが、とんでもない神主である。

学校で困っただけならまだ良かったが、それだけでは済まなかった。

「軍隊でえらい目に遭うたがな。上官が点呼する時に、俺のところで止まってしまふんや。読めんのや。それだけのことで殴りよるんや。『ややこしい名前つけるな』ゆうて。元の帳面にはふりがながついとる筈やけど、よう覚えよらんや。そこから、恥かかされたと思て腹いせに殴りよるんや。一べんだけやない、何べんもや。俺がつけた訳やないのに、ホンマ、軍隊ゆうところは理不尽などこやで。それにしても、もう一人の与有はどないしとるやろ。学校出てから会ってないけど、どうせろくな者にはなつたらんやろなあ」

参考文献

。「古代の出石」(出石町立小野小学校)

。「古事記」

いずし・あかる 43年兵庫県生まれ。「風媒花」「火曜日」同人。兵庫県現代詩協会員。詩集「コーヒーカップの耳」(編集工房ノア刊)にて、2002年度第31回フルメール賞文学部門受賞



■新連載小説／⑥

# 鏡の中のサムライ

中野 順哉

絵・題字 平田 郁



紺谷安太郎と妻寿美子の経営する神戸オリエンタルホテル内の理髪部「紺谷理容店」に珍客としてやって来た休六。成金大沢大勝の後ろ盾もあって、理髪部の宿舎に寝泊まりすることになった。

しかしただ見学者として居候させるわけにもいかず、紺谷夫妻は考えたあげく、とりあえず休六を「見習い」として扱うことにした。

休六の日課は、早朝の五時半に始まった。まず飯を炊き、主人や職人たちが顔を洗うための湯を沸かす。その間にトイレ掃除を済ませ、飯が炊き上がったところで職人たちをおこし、安太郎と寿美子、次いで職人たちの給仕をした。その後職人たちが食後の茶を飲んでいる間に、店の床の雑巾がけをして開店の準備をする。休六自身の朝食はその後で「兄弟子」連中の許しを得てからとる。

これは戦前の日本ではそれほど珍しくもない「丁稚奉公」の風景であったが、こうすることでこの扱いに困る「珍客」が音をあげて直ぐに出てゆくのではないかと、紺谷夫妻は考えていたのであった。

ところが二週間経っても、三週間経っても休六は出てゆくどころか徐々に仕事に慣れ、しかも職人の中から「休六の炊いた飯はうまい」という声まで聞こえるようになってきた。そこで更に仕事を増やし、店に出て床を掃いたり、椅子を磨かせたり、客用のタオル、職人たちの白衣、ワイシャツさらに下着まですべてを洗濯させてみることにしたのだが平然としている。夜の風呂で職人の背を流させたが応えない。それどころか仕事が増えれば増えるほど休六はいきいきしてくる。

「おい、スミよ。あの男、一体どうなってるんや？ ほんほんかと思うとったら、大した働きぶりやで。このまま雇うてやってもええのと違うか？」

ある日紺谷安太郎は妻、寿美子に言った。

「それはあんたがそう言わはるんやったら、私も異存はないけれど……」

「けれど？ なんや」

「気悪うせんと聞いて下さいいな。あの休六という子は……散髪の職人にするにはもったいないような……なんか溢れ出るもんがあるような気がするんで。雇うより、こんな感じで宙ぶりんにしておく方が、勝手にええ道を見つけることが出来るのと違うかと思うてるんです」

「ほう、えらい惚れ込んでしもうたようやな？ でも職人としての仕事を覚えさせへんのやったら、どうしておくつもりや。側におくにはそこそこええ歳してるしな……世間体もあるやろ。スミさんこのごろ男をこうて、側においてはるなんて言われたら目もあてられん」

「あほなこと……それよりもちょっと見て欲しいもんが」と言って寿美子は胸元から手紙を一通とり出した。安太郎はそれを受けとって開けると「こりやまたなんで……」と嘆息を漏らした。

「ということは何か？ 休六が船で会った紳士というの、蜂須賀侯爵のことかいな。えらいこちゃ。」

「蜂須賀侯爵」とは蜂須賀正氏のことである。

正氏の父は阿波徳島の元大名蜂須賀正韶、母は徳川慶喜の三女筆子。つまり徳川慶喜にとっては孫に当たる。そのために明治になってもうけられた華族制度では第二位の「侯爵」を授けられたので



ある。この人物は昭和に入って「日本初のアフリカ通」として有名になるのだが、この時期はまだスキャンタルの多い「殿様」として有名であったようだ。イギリスに留学中であったが、父親が皇室との縁談を調え一時帰国を命じた。素直に帰国はしたものの、逆に父親が息子の放蕩ぶりを知ることとなった。世に言う「蜂須賀の廃嫡騒動」が起きたのが、ちょうどこの時期のことらしい。有馬休六が出会ったのは、馴染みの芸妓を「妻」と称して旅をしている：「破談」の為のデモンストレーションをしていた蜂須賀侯爵ということになる。この事実関係について有馬休六はその手記に「船上にて紳士に会う。懇ろに世話をして頂きしも名は明かされず。後日になりて蜂須賀侯爵と判明せり。もはや礼を述べる術なし」と記しているにすぎない。

蜂須賀侯爵は約束を違えることなく、休六の推薦状を紺谷美容室に送ってきたのである。寿美子は推薦状をもう一度丁寧に折りたたむと話を続けた。

「ともかく蜂須賀さんからもこんなに丁寧なお手紙をいただいたているわけやし：ちょっと私らも違うこと考えた方がええのと違いますか。休六かて見学したいと言うて来たわけやし：この数週間で何を見たのか、ちょっと話を聞いてみて、それからどうするか考えてみるというのはどうでしょう？なるほどとこっちが頷けるようやったら、見学者として気が済むまで勉強してもらったら良いし：もし、しょうもないことばかり言うようやったら、ここにいるより大沢さんのところで働く方がええ

と私から説得しましょう」

早速その晩休六は二人の前に呼び出された。休六はいかかわらず例の新調した洋服を着たままで、汚れ仕事をしながらも身なりはいつも整然としていた。寿美子は休六にお茶をすすめた。そして休六がお辞儀をして一口お茶をすするのをながめると、話を切り出した。

「休六、お前は今日まで数週間見学をしていたわけやから、何か見えてきたのと違うか。ここでの仕事をしながら今見えていることを何でもええから話をしてみられるか。こちらでも何か為になるかもしれない」

休六は丁寧に湯呑みをテーブルにおくと姿勢を正して目を輝かせた。

「はい。さほど多くのことは分かりませんが、意見を申してもよいと仰るのでしたらお内儀様の一つ。お店に出るときはその和服にエプロンというのはお止め頂きたく思っております」

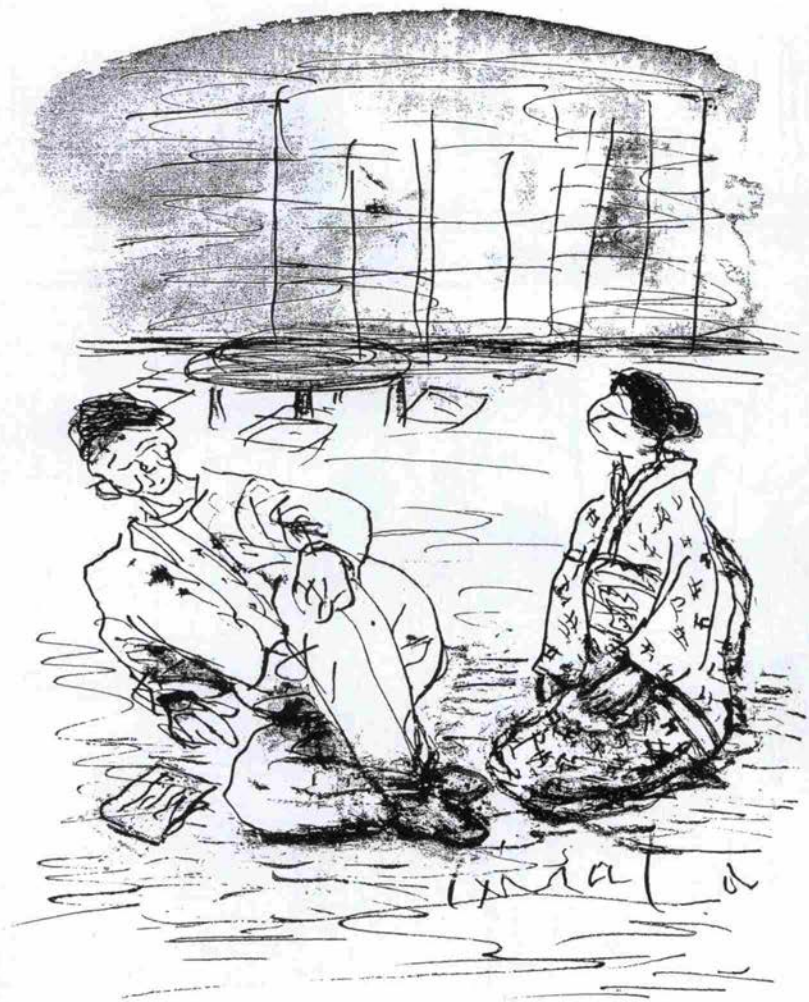
「え？この格好が良くないのんか？」

「全くよろしくありません。職人の方々はみなこのホテルに相応しい制服を着ておられます。お内儀にも是非洋服を着て頂きたく思っております。

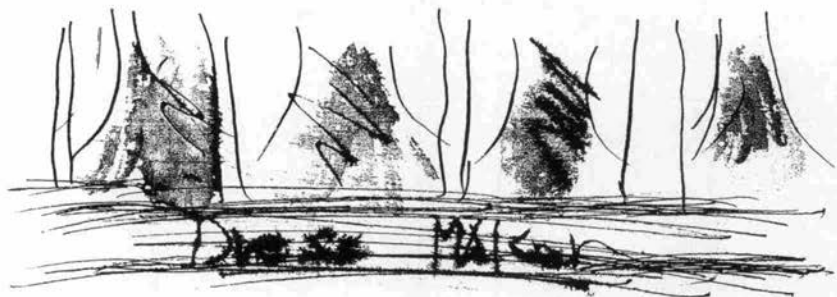
この数週間、ここでの仕事を見させて頂きました。間違いなくここの仕事はこの国に西洋の文化を教えるものであり、また西洋人に「日本は西洋の仲間入りをした」ということを感じさせる場所でございます。今はこのホテルを使う日本人はごくわずかですが、徐々に食事だけでも利用するハワイトカラーも出てきているようです。この流れはもっと激しくなってくるでしょう。摂津電気鉄道や兵

庫電気軌道などがすぐ近くまで走るようになりま  
したし：一日かかった場所が一時間で行き来でき  
るようになりました。更に箕面有馬電気軌道は山  
の中腹に電車を走らせるかわりに住宅街を設け、  
家を月賦で販売しているそうではないですか。ま  
た昼に来て夜帰るお客の層を開拓するために大学  
を沿線に誘致している。それだけではなく、例の  
戦争以来西欧だけでなくロシアなどの東欧の文化

がどうやらこの地にやっけてきているようですね。  
直にこの居留地の文化も変化してゆくのではない  
でしょうか。神戸はもっとももっと大きくなっ  
てゆこうとしています。そしてその先端を走るべき場  
所がここだと思っております。ですからお内儀には是  
非洋服をお召しいただきたいと思っております」  
紺谷夫妻はまさに開いた口がふさがらないとい  
う顔でお互いの顔を見合わせていた。







「なあ、休六…」しばらくして寿美子は尋ねた。  
「お前、それだけのことをここ数週間で学んだのか。色々下働きをさせたが、そんな中でどうやって学んだのや」

「下働き…ですか。皆さんのお世話をすることは、私としては下働きとは考えておりません。あれはご主人や職人の皆さんが日頃必死で「西洋の顔」

をしていなければならぬ分、それを支える「東洋」を私が担っているのだと思っています。ですから、お世話をさせていたたくことを大変誇りに思っております。その「東洋」を担っている場所からお客さんの様子や、時折交わされるお話を耳にしていると、神戸にやって来たばかりの頃はただただ驚いてばかりだったことも、少しずつ理屈

に合うようになってきた：ただそれだけでございます」

「スミ、わしは何やよう分からないうようになってきたさかい、もうお前にまかすわ。とにかくええ青年や。ええようにしてやれ。洋服がいるんやったら買うたらええ」と言って安太郎はその場を去った。あとに残った寿美子は休六をもっと側に寄せ、洋服に付いたゴミを指でとってやると小声でいった。

「で：どんな洋服が私に似合う。私洋服は買ったことがないから：ちょっと一緒に見にいってくれるか。ついでにお前にも一着買おうてあげるわ」

数日後、紺谷寿美子は休六を連れて買い物に出た。彼の見立てで寿美子は一四着の洋服を買った。バスカール風の紺サージに真紅のソフトカラーのものから、明快なグリーンの短いスリーブスカートなど様々なものを選び客の反応を見ようと言るのが休六の案だった。

「こんなに服を買うのは初めてよ」と困った顔を見せながらも、寿美子はいつになく上機嫌であった。そしてもうすぐ日が傾きそうではあったが、約束どおり休六にも服を買ってやろうと彼女は紳士服の店に入ろうとしていた。しかしその時になって休六はそれを辞退した。

「実はお内儀：私の場合は服よりもっと必要なのがあります」

「おやまあ：で、何が欲しいの」

「お内儀は桐山政太郎という人物をご存じでしょうか。神戸から大阪に電車に乗って行って、そこでパンを売った人間ですよ。それが高じて五年ほ

ど前に神戸屋というパン屋を立ち上げたのですが、今やパンはレストランに限られたものではなく、いずれ日本人にとって一般的な食べ物となるはずです。そこで朝の食卓ですが、米の食事をパンの食事に変えてはどうかと思うのですが：。ところがパンにあう料理となるとまた勉強が必要です。そこでまずお内儀とパン屋を見に行き、そのあとに西洋料理のことを記した本を探しに行きたいのですが：お付き合ひして頂けますでしょうか」

「全くお前という子は：良いでしょう、少し遅くなくてもお店大事の買い物ですから。行きましよう」

そして二人は再び街の中に消えていった。こんな買い物は何度となく続き、いつしか休六は現在というところの「コーデイネイター」として下働きをしながら店に居残ることになった。そして半年という時間が瞬く間に過ぎていった。そんなある日、久々に父への手紙をしたため郵便局へ向かっていた休六は、号外を手にしたことになった。

「何だって：これはえらいことになった」

休六は手紙を投函するのにも忘れて大急ぎで走り出したのだった。この事件が後に彼の運命を大きく変える切っ掛けとなるのだが、そんなことなどまだ誰も知るよしもなかった。



■中野順哉（なかのじゅんや）  
一九七〇年生まれ。関西学院大学文学部フランス文学科卒業。日本テレマン協会代表代行、上方講談の作家でもあり、すでに二十を超えている作品が上演されている。



# プレゼントメイト



## ■プレゼントメイトへのご応募は...

ハガキ・FAXに、希望するプレゼント名・郵便番号・住所・氏名・年齢・職業・電話番号・今月号の感想を明記の上、下記宛先にお送り下さい。なお、商品の発送をもって発表にかえさせていただきます。応募宛先〒650-0001 神戸市中央区下山手通2-13-3建創ビル401(有)月刊神戸っ子プレゼント係

TEL. 078-331-2246

FAX. 078-331-2795

## ★アメリカ古代文明

〜新大陸三千年の響き〜

ミホ・ミュージアムでは、

夏季・秋季特別展「アメリカ古代文明」を開催する。

この招待券をペア5組にプレゼント。

20万年前アフリカに登場したホモ・サピエンスの中でも、最も東に進出した集団はユーラシア大陸を越え、数万年前よりアメリカ大陸に波状的に到来したとされている。今回の展示では、紀元前18世紀から3千数百年の時間の広がり、北はアリゾナ、南はペルー南部に及ぶ空間の広がりを持って、日本初公開の珠玉の品々

の80点余りを公開。アメリカ古代文明の産み出した永遠の輝きが堪能できる。

■開催期間／7月17日(出)8月22日(回)・9月1日(休)8月15日(休)。10時〜17時まで。毎週月曜日休館(休日の場合翌日)。

■ミホ・ミュージアム／滋賀県甲賀群信楽町桃谷3000

☎0748-8213411

<http://mho.jp>

★第24回大阪城新能格調高い文化イベントとして名高い大阪城新能も今年で24回目を数え、夏の夜を彩る年中行事として、幅広い年齢層の支持を受けている。

## ★第24回大阪城新能

今年、金剛流宗家の金剛永謹師による「敦盛」。火入れ式につづき、人間国宝の茂山千作らによる狂言



「葵上」観世栄夫

「萩大名」、観世流の観世栄夫師による「葵上」を上演。この招待券をペア2組にプレゼントする。

大阪城西の丸庭園の広大な芝生を会場にして、ライトアップに映える天守閣をバックに、各流の宗家や人間国宝ら能楽界の第一人者が演じる幽玄の世界にしはしひたってみてはいかが。

■会期／7月26日(月)18時開演

※雨天の場合は翌27日

■会場／大阪城西の丸庭園

(前売一般3300円・当日4000円)

## ★市民映画劇場「女はみんな生きている」

平凡な主婦と謎の娼婦が男らしく？練り広げる、笑いあり涙ありの痛快人生ロマン。主婦エレノア役にカトリヌ・フロ。美しいアルジェリア人娼婦ノエミにはラシダ・ブラクニ。監督は、「赤ちゃんに乾杯！」

で世界を笑いの渦に巻き込んだコリーヌ・セロー。ラストまで予測できない、息もつかせぬ面白さが観る人すべてを元気にする。

この映画の招待券をペア3組にプレゼント。極上のエンタテインメントをお楽しみに。

■6月11日(金)・12日(土)

①11:00 ②13:30 ③16:00

④19:00(前売1300円・当日1500円)

■会場／シーガルホール

(神戸文化小ホール)

<http://www.kobe-eisa.com>



単なるコメディで終わらせない心に沁みる感動のラストへ

## 愛読者 サロン



★神戸の映画の灯が：アサヒシネマが閉館、西灘シネマも：。というニュースを聞きショックを受けています。両館とも地道にいい映画を送り出してきたのに：。せつなく震災を乗り越えたのに：。支えるだけ足繁く通えなかった私の（あるいは市民の）責任でもあると痛感しています。

（灘区・中西正）

★「野元正」の文学散歩を興味深く読ませていただきました。先日NHK大河ドラマの「源義経」のキヤストが発表されていましたが、来年は観光スポットとして「須磨寺付近」が注目されるそうですね。来年混雑する前に「神戸っ子」を片手に散歩したいと思っております。

（三木市・稲岡奈津子）

★「暮らしのエスプリ」素敵なコラムですね。ティーテーブルのお写真もキレイ。我が家のお庭も3年目の春。France Madameに分けて頂いた樹木やハーブが色鮮

やかです。お庭を楽しむ心のゆとり：大切にしたいですね。

（加古川市・内井薫）

★5月号は春らしく写真がとっても明るく感じられ、表紙絵も女性の表情が凛として見るものをひきつけます。4月号が若々しい女性で清々しさを感じましたが、それとまた別の味わいがあります。作者の自身の程が伝わって来るようです。

（茅野市・山本幸伸）

【読者の方からのお写真】  
★夏に塩屋の浜では若い外人の姿がよく見られました。また少ないですが異人館も電車路線の上手にありました。鉢伏山が海に迫っていたので境浜の海水浴場は少し深いようでした。全市の小学校の水泳場となっていました。私の第一神港は東の天神浜にあって当時県二

高女と隣り合っていました。神戸では水泳場はここが一番人出が多かったです。天気よく晴れた日には対岸の紀州や遠くに友が島が霞んでいることもありました。

学校の水泳検定では、全く泳げない者は赤色の丸帽を、そして二丁（300メートル）泳げると帽子に白い

○が一つ入ります。ほかに三丁、七丁、一里（4キロ）の検定に合格すると白帽に変わります。教師は練士と言つて黒帽に白線が入ります。

泳ぐのは15分間隔でそれは太鼓の合図でされます。そして学校の売店では最高においしい「あめ湯」が一杯一銭で売られていました。時々あわてておなかの上にこぼして「アチチ！」これが楽しみでした。淀川先生も神戸っ子に以前書かれてますが、海に入る時は煎ったそら豆の袋を腰につるして、これが1時間程海水に漬かると程よく柔らかく、とてもおいしい塩味になりました。

またすぐ裏手を国鉄のSLが長く白い煙をたなびかせて走っていました。帽子にあご紐をかけた機関士が、いつも海岸の私達に手を振つ

て、ボーボーと汽笛を鳴らしてくれて、私達もこれに応えて皆両手を振っていました。

隣りの須磨駅の上りホームには、少し大きい松の木が程よく湾曲を見せて屋根の上に青い枝を出していたのが印象的でこれが須磨駅の風格だったでしょう。当時は須磨駅付近は自殺の名所で、1970年の「神戸っ子」109号に林田先生が「須磨哀愁」で書いておられますように、駅の線路脇や浜のあちこちに「ちょっと待て！」の自殺防止用の立札が立っていました。

確か昭和6年6月に当時満州国皇帝の溥儀氏ご夫妻が菊花御紋章入りの国賓列車で上京されるのを、私達2年生は駅のホームでお迎えたのを覚えています。

（加西市・白水誠三）







# 神戸っ子は 左記の書店で

- 神戸市東灘区  
東灘みかげブック  
ブックフォーラム 岡本店  
本庄ブックス  
本山宝盛館  
本山宝盛館書店住吉店  
甲南堂書店  
灘宝文館  
灘宝文館 灘区  
阪急BF六甲店  
ブックスキョスク六甲店  
●神戸市中央区  
アシーナ書局神戸店  
高橋書店  
●神戸市東灘区  
ブックスキョスク三宮駅前店  
ブックスキョスク三宮店  
アサヒヤボーアイ店  
ブックスキョスク  
元町宝文館  
神戸テンパイ  
●神戸市兵庫区  
ブルネット 神鉄ビル店  
中山  
●神戸市長田区  
アイヨ堂  
喜久屋書店ジョイプラザ  
サニョー書店西代店  
フェニックス  
けいりん堂新長田ビル店  
●神戸市須磨区  
新文堂書店パティオ店  
キクヤブックストアかつわ  
博文堂  
●神戸市垂水区  
新文堂書店  
明義書店  
喜久屋書店名谷店  
●神戸市北区  
アミーゴ 藤原台店  
スタール商会 鈴鹿台店  
宮脇書店 神戸北店  
宮脇書店 神戸北町店  
スタール商会  
●神戸市西区  
ブックフォーラム セリオ店  
伊川谷タムラ  
●芦屋市  
天久書店  
芦屋ジュンク堂書店  
芦屋宝盛館本店  
芦屋宝盛館 北店  
三和書房  
しゆんかん堂にわ支店  
●西宮市  
宮脇書店 西宮店  
ジュンク堂書店 西宮店
- 宝塚市  
キヤップ書店 逆瀬川店  
●豊岡市  
ブックフォーラム ジュンク豊岡  
●三田市  
おかね書房 ウッディタウン店  
●小山市  
●姫路市  
ブックロード  
●森井書店  
井上書林  
●本宮書店  
ブックスキョスク三ノ宮店  
●最上書店  
BOOKS 松中クオビル店  
●喜久屋書店 明石右京ビル店  
●ニ崎市  
ブックスキョスク三木  
●加古川市  
喜久屋書店 加古川店  
ブックスキョスク かいや 加古川いしもり店  
●小野市  
ブックスキョスク 小野  
●西脇市  
アンス  
●津名郡一宮町  
宮脇書店 津名一宮店  
●津名郡津名町  
ブックスキョスク マチ  
●東京区千代田区  
三信書店  
●ジュンク堂 プレスセンター  
●東京都港区  
キヤップブックストア 番街店  
●東京都渋谷区  
阪急ブックフォーラム スト渋谷  
●東京都新宿区  
ブックスキョスク 西武  
●東京都豊島区  
なかみ堂 豊島店  
●日高市  
エヴァネットフック  
●大阪市中央区  
ジュンク堂書店 なんば店  
●大阪市北区  
ジュンク堂書店 大阪本店  
●大阪市東淀川区  
福太郎書店 阿倍野区  
●出羽市  
ブックフォーラム 柏原店  
●八幡市  
BOOKS フレンド  
●舞鶴市  
BOOKS カルチャーペース  
●熊本市  
ジュンク堂書店 大岡店  
●鹿児島市  
ジュンク堂書店 鹿児島店



## 編集後記

★「詩人さん！竹中都在あ  
るくて、王子市民ギャラリー  
をたすねた。」生誕100  
年記念に、何としても、王  
子市民ギャラリーに『竹  
中郁生誕記念詩人の館』と  
添えて頂いて、竹中郁コー  
ナーを常設してほしい。20  
世紀を代表する詩人の一人  
なのだから。(小泉美喜子)

★遅ればせながら小誌のホー  
ムページが誕生。小社の沿  
革から会員企業や店舗の紹  
介。まだ立ち上げたばかり  
で完全とはいえませんが、  
小さく産んで大きく育てて  
いきたいです。ご覧いただ  
きまして様々なご意見を頂  
戴できれば幸いです(高橋直人)

★雨にぬれた緑が美しいこ  
の季節「花とみどりの回廊  
づくり」の話題では中央区  
各町独自の真剣な取り組み  
をご覧下さい。ウチのペラ  
ンダの緑も伸び放題で…。

(鳥羽朗子)

★ウチのペランダは毎朝庭  
師が手入れしておりますの  
で、今はリビンググーストーン  
デージーが花ざかり。ハー  
ブの香り漂う空中庭園です。  
試しに植えたナンキンも元

気な芽を出し、どんな実が  
できるのか楽しみです。

(山本牧)

★毎年イヤでもやってくる  
私の安眠を妨害するモノが！  
耳元での音が聞こえる度  
に憂鬱におちいる…。そし  
て安眠をかけて深夜の大格  
闘！うー「蚊」なんて大嫌  
いだーっ。(福田美由紀)



代表取締役編集長／小泉美喜子  
編集・営業／高橋直人 大原宇勉  
鳥羽朗子 山本牧 福田美由紀  
経理／小林昌夫

月刊神戸っ子のホームページは  
kobecco.co.jp  
ぜひアクセス下さいませ。

月刊神戸っ子 No.516  
★発行／2004年6月1日  
★発行所／月刊神戸っ子編集室  
〒650-0011  
神戸市中央区下山手通2-13-3  
建創ビル4階  
TEL.078(331)2246(代)  
FAX.078(331)2795  
kobecco@crux.ocn.ne.jp  
★定価：500円(税込) 送料100円